

# 国際放射線防護学会IRPAと 国際放射線防護委員会ICRPの活動

---

佐々木道也，横山須美，浜田信行，甲斐倫明

第5回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会

2024年12月18日（水）9:30-10:30

大阪大学コンベンションセンター

本発表について開示すべき利益相反はありません。

# 国際放射線防護学会IRPA

- 世界68か国、53の放射線防護関連の学会を加盟学会とし、放射線防護専門家を代表する“声”として、国際会議及び地域会議の開催、若手世代のネットワーク構築支援等を行っている。

IRPAのタスクグループ	当学会からの参加者
高等教育、研究及び研修(Higher Education, Research and Training)	
メンタリング(Mentoring)	河野恭彦
非電離放射線(Non-Ionizing Radiation)	平杉亜希
自然起源放射性物質(NORM(Naturally Occurring Radioactive Materials))	岩岡和輝
公衆の理解(Public Understanding)	吉田浩子、黒田佑次郎、河野恭彦
医療における放射線安全(Radiation Safety in Healthcare)	
放射線防護の体系のレビュー(Review of the System of Radiological Protection)	桧垣正吾、佐々木道也
組織反応(Tissue Reactions)	横山須美、浜田信行
放射線に携わる女性たち(Women in Radiation)	安岡由美

# 国際放射線防護学会IRPA

世界88か国 53の放射線防護関連の学会を加盟学会とし、放射線防護専

2年ほど前にオンライン会合の連絡が来たのを最後に連絡が途絶し、動きが見えない状況です。NIR関係の大きな動きとしては、WHOのEnvironmental Health Criteria（高周波電磁界）作成の前段階としてのシステムティックレビューの結果が今年になって続々と公開されております。WHOとして、このレビュー結果をもとにした評価（これがEHCそのものなのかは不明）を2025年に公表するという報道もあります。

高等教育

者

メンタリング(Mentoring)	河野恭彦
非電離放射線(Non-Ionizing Radiation)	平杉亜希
自然起源放射性物質(NORM(Naturally Occurring Radioactive Materials))	岩岡和輝
公衆の理解(Public Understanding)	吉田浩子、黒田佑次郎、河野恭彦
医療における放射線安全(Radiation Safety in Healthcare)	
放射線防護の体系のレビュー(Review of the System of Radiological Protection)	桧垣正吾、佐々木道也
組織反応(Tissue Reactions)	横山須美、浜田信行
放射線に携わる女性たち(Women in Radiation)	安岡由美

# 国際放射線防護学会IRPA

- 世界68か国、53の放射線防護関連の学会を加盟学会とし、放射線防護専門家を代表する“き”レター国際会議及び地域会議の開催、若手世代の

ネット

岩石などの天然資源NORMの産業利用における問題意識を高めること、そして産業事業者や規制当局の共通理解を発展させることを目的として、2018年9月に提案された。現在のところ目立った動きはなく、情報の共有が行われている。これまでに、日本からはQST NORMデータベース (<https://www.nirs.qst.go.jp/db/anzendb/NORMDB/ENG/index.php>) を情報として提供した。

参加者

非電離放射線(Non-Ionizing Radiation)	平杉亜希
自然起源放射性物質(NORM(Naturally Occurring Radioactive Materials))	岩岡和輝
公衆の理解(Public Understanding)	吉田浩子、黒田佑次郎、河野恭彦
医療における放射線安全(Radiation Safety in Healthcare)	
放射線防護の体系のレビュー(Review of the System of Radiological Protection)	桧垣正吾、佐々木道也
組織反応(Tissue Reactions)	横山須美、浜田信行
放射線に携わる女性たち(Women in Radiation)	安岡由美

# 国際放射線防護学会IRPA

- 世界68か国、53の放射線防護関連の学会を加盟学会とし、放射線防護専門家を代表する“声”として、国際会議及び地域会議の開催、若手世代のネットワーク構築支援等を行っている。

IRPAのタスクグループ	当学会からの参加者
高等教育、研究及び研修(Higher Education, Research and Training)	
メンタリング(Mentoring)	河野恭彦
非電離放射線(Non-Ionizing Radiation)	平杉亜希
自然起源放射性物質 公衆の理解(Public 医療における放射線 放射線防護の体系 Protection)	IRPAのTask Group “Women in Radiation”では、女性のキャリアアップの平等を求めていく活動に取り組んでおり、 <b>声明を準備中</b> です。日本においては、世界経済フォーラムによるジェンダーギャップ指数が146カ国中118位と低迷しています。放射線分野に限りませんが、日本では政治・経済分野の男女格差が大きく、少しでも改善する努力が求められています。JHPSは我が国の情報提供(福島事故後の状況など)を通じて協力しています。
組織反応(Tissue Reactions)	横山須美、浜田信行
放射線に携わる女性たち(Women in Radiation)	安岡由美

可野

# 国際放射線防護委員会ICRP

6

- ▶ 主委員会と4つの専門委員会からなる組織であり、策定される放射線防護体系の勧告はわが国の法令等にも取り入れられている。
- ▶ 安宗貴志, 国際放射線防護委員会ICRPの最近の活動について, 令和6年6月28日 日本保健物理学会シンポジウム発表資料より

## 30タスクグループが活動中

TG36 Radiopharmaceutical Doses	TG115 Risk and Dose for Astronauts
TG91 Low-dose and Low-dose Rate Exposure	TG116 Imaging for Radiotherapy
TG95 Internal Dose Coefficients	TG117 PET and PET/CT
TG96 Computational Phantoms and Radiation Transport	TG118 RBE, Q, and $w_R$
TG97 Surface and Near Surface Disposal	TG119 Diseases of the Circulatory System
TG98 Contaminated Sites	TG120 Radiation Emergencies and Malicious Events
TG99 Reference Animals and Plants Monographs	TG121 Offspring and Next Generations
TG103 Mesh-type Computational Phantoms	TG122 Detriment Calculation for Cancer
TG105 The Environment in the System of RP	TG123 Classification Radiation-induced Effects
TG106 Mobile High Activity Sources	TG124 The Principle of Justification
TG108 Optimisation in Medical Imaging	TG125 Ecosystem Services
TG109 Ethics in RP in Medicine	TG126 Human Biomedical Research
TG111 Individual Response to Radiation	TG127 Exposure Situations and Categories of Exposure
TG112 Emergency Dosimetry	TG128 Individualisation & Stratification
TG113 Dose Coefficients for X-ray Imaging	
TG114 Reasonableness and Tolerability	

48

## 主委員会



### 運営組織

- 方針を定め、全般的な指示を与える。

### 会議開催実績

- ① 2023年11月3日～5日(東京)
- ② 2024年3月20日～23日(Aix-en-Provence、フランス)

ICRP

2

## 2021-2025期の主委員会委員(~2023年6月5日)



ICRP

3

2024/12/5

# 本セッションの目的

- ▶ 本セッションは日本保健物理学会国際対応委員会の企画セッションとして、
  - ・ **IRPAの組織反応に関するタスクグループ**
  - ・ **ICRPの活動全般**について情報共有と議論の促進をはかることを目的とする。